

■一般社団法人 鹿児島県作業療法士会 理事会 議事録

日時：令和4年6月20日（月） 19：00

場所：Web 会議

出席者：吉満・藤田・福永・西・深見・柳田・黒木・住吉・坂下・日高・永山・田中・安藤

欠席者：小澤・峯戸松

報告

報告事項1

提出者：吉満孝二

士会内での立場：会長（研究班班長）

報告：県協会研究班と県社協（かごしま介護実習普及センター）との介護ロボット普及検討会の発足

内容：介護ロボットの普及に向けた研修プログラムの構成検討及び介護ロボットの効果的な体験方法・説明内容の検討、介護現場での円滑な介護ロボット導入と活用に向けたマニュアル作成を行う。

報告事項2

提出者：田中 有貴

士会内での立場：事務局長

報告：年会費納入について

内容：6/20 現在 総会員名 1163 中 868 名（74.6%）納入済み

報告事項3

提出者：田中 有貴

士会内での立場：事務局長

報告：後援依頼承諾について

内容：第4回日本スティミュレーションセラピー学会学術大会（9/24開催）

報告事項4

提出者：黒木 貴博

士会内での立場：生涯教育制度推進委員

報告：5/26 第1回 生涯教育制度推進担当者会議出席

内容：受講登録システムの動作指導

昨年度の手帳移行 保留者 全国で1600名弱 鹿児島は43名
→対象者にLINE@で呼び掛け、技術的な支援を行う必要あり？

報告事項 5

提出者：田中 有貴

士会内での立場：事務局長

報告：退会者について（1名）

内容：分田彩香 菊野病院 退会理由記載無

報告事項 6

提出者：坂下 寛

士会内での立場：広報担当理事

報告：広報誌 IDDOT vol.3 の完成と今後の活用方法について

内容：広報誌完成しました。今後、鹿県協会員全員へ郵送する発行物があつた際に同封して配布。
また、養成校でも活用いただきたい。

報告事項 7

提出者：吉満孝二

士会内での立場：会長

報告：会長交代に伴い、県内 OT（県協会会員）所属施設、県医師会、専門職職能団体、
47 士会、日本協会、県社協、鹿児島県、鹿児島市、九州内養成校など 400 件弱ほど郵送予定。

謹啓 初夏の候 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます
平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます
さて、私ごと
このたび 五月二十日をもって 鹿児島県作業療法士協会会長を
退任いたしました
在任中は、公私にわたり格別のご指導とご厚情を賜り、厚く御礼申し
上げます
なお後任には吉満孝二が就任いたしましたので、私同様のご指導ご支
援を賜りますようお願い申し上げます
まずは略儀ながら書中をもちまして御礼かたがたご挨拶申し上げます
謹言

令和四年六月吉日

鹿児島県作業療法士協会
前会長 竹田 寛

謹啓 初夏の候 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます
平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます
さて、私ごと
このたび 五月二十一日をもちまして 鹿児島県作業療法士協会会長
を拝命いたしました
微力ながら、県民の医療・福祉・保健の増進のために職責を全ういたす
所存でございます。また、令和五年七月には九州作業療法学会2023
in 鹿児島を開催いたしますので、今後とも格別のご指導ご鞭撻を賜り
ますようお願い申し上げます
まずは略儀ながら書中をもちましてご挨拶申し上げます
謹言

令和四年六月吉日

鹿児島県作業療法士協会
会長 吉満 孝二

報告事項 8

提出者：柳田信彦

士会内での立場：学術部担当理事

報告：第 32 回県学会

1. 第 32 回鹿児島県作業療法学会

1) 学会長：酒井 宣政 氏（種子島医療センター）

2) テーマ：チャレンジ

- 3)開催日：令和4年8月27・28日（土日）
- 4)会場：西之表市民会館：現地開催・Web配信のハイブリット
- 5)演題募集：応募数 9演題6/19現在（本日3件登録予定）→合計12演題
- 6)協賛 4件あり（大勝病院 原田学園 豊島病院 池田病院）
- 7)その他：感染対策のマニュアルを作っている（濱添実行委員長）

報告事項9

提出者：柳田信彦

士会内での立場：学術部担当理事

報告：学術誌：

- ・Vol.29：新規投稿数：なし

現在：査読中1件

特集を組み予定：特集テーマ：地域包括ケアシステムに関連する作業療法関連で検討中
令和5年3月に発刊予定

報告事項10

提出者：柳田信彦

士会内での立場：学術部担当理事

報告：研究支援事業：

1. 研究法研修会：

- 1) 第1回研修会：開催日時：令和4年6月24日（金）19：30～21：00

タイトル：事例検討のための研修会

～シングルケースのまとめ方、学会発表につなげる手順を学ぶ～

講師：鹿児島第一医療リハビリ専門学校 池田 真一 氏

場所：個別 web 受講

内容：院内で事例報告の予定がある方、今後学会に参加、学会で発表を考えている方に向けた基礎的なことを学ぶ。事例報告の意義から報告の形式、学会発表に向けた準備、自分のやりたいテーマの見つけ方などを講義形式と個人ワークを通して学ぶ。

2)今後の研修会予定

9月 PICOPECO 研究テーマを見つけてみよう

10月 文献検索 文献検索の方法や研究様式、デザインを学ぶ

12月 統計 チャート方式、具体例を決めて統計手法選択のパターンを学ぶ

2月 エキスパート向け 量的、質的研究の各エキスパートの先生に自分の研究を話してもらう

3. 研究相談会：近日案内を広報予定

4. 課題研究助成制度

研究助成承認：加治木温泉病院 藤本皓也氏

テーマ：中枢神経系疾患を伴う対象者に対し、手指屈曲伸展反復運動時の同時性収縮の評価方法の検討

期間：令和4年6月～令和6年5月まで

採択通知発送済

報告事項 11

提出者：柳田信彦

士会内での立場：学術部担当理事

報告：学術部コンテンツ

- ・種子島学会用の動画を作成中
- ・昨年の研修動画（ビデオライブラリ）を一斉配信予定

報告事項 12

提出者：田中 有貴

士会内での立場：事務局長

報告：事務所のパソコンから定期的にデータを吸い上げる必要があるため、事務所の合鍵を預かります。
また、アクセスデータを扱うことになるためこちらを購入予定です。

報告事項 13

提出者：田中 有貴

士会内での立場：事務局長

報 告 : 九 州 OT 学 会 2022 in 佐 賀 の 視 察 報 告
【 事 務 局 】

- ・会議費は、1回の会議で200円+交通費のみ
- ・士会長会からの助成金は約500万円(約400万円は直近の振り込み)
- ・広告料は企業や養成校から14件であり、学会誌への掲載や各セッションの合間に流した
- ・佐賀ではバーチャル展示を行わなかった
- ・講師謝金はマニュアル通りの金額とした(オーガナイザーはシンポジウムと同額に設定した)
- ・講師謝金の支払は原則振込とし、領収書は発送で対応
- ・記念品は、講師：佐賀錦(織物)の印鑑入れ 5000円×13名分、講師・座長・運営スタッフ：学会名入りのボールペン
- ・学会期間の日当は1日2000円(リモートでも同額)とし、弁当は各自で用意してもらった
- ・現金の受け渡しは原則ネットバンキングを利用
- ・学会参加費の徴収は振込またはペイメントを利用(手数料は申込者負担)
- ・ 学 会 参 加 費 は 返 金 不 可 と し た

議案

議案 1

提出者：田中 有貴

士会内での立場：事務局長

議案：新入会員について（18名）

谷口 早弥香（タケチ サカ）ナースিংホームひだまり 19425

一葉 茜音（ヒト アサネ）種子島医療センター 91190

橋口 明弘（ハシグチ アキヒロ）加治木温泉病院 82551 再入会

岡野 亮真（オノ リョウマ）クワリハビリテーション病院 協会番号記載無

田中 彩莉（タカ アサリ）クワリハビリテーション病院あいら 91664

松元 美沙紀（マツモト ミサキ）今村総合病院 協会番号記載無

坂下 楓佳（サカタ フカ）垂水中央病院 91331

井手籠 康太（イデゴモリ コウタ）今村総合病院 協会番号記載無

水流 百香（ツル モモカ）恒心会おぐら病院 協会番号記載無

山内 結希実（ヤマウチ ユキミ）青仁会池田病院 協会番号記載無

中島 直也（ナカシマ ナオヤ）みなと病院 協会番号記載無

堂園 茉咲（ドウヅノ マサキ）米盛病院 協会番号記載無

神村 茉綸（カミムラ マリン）米盛病院 協会番号記載無

八木 美帆（ヤギ ミホ）八反丸リハビリテーション病院 協会番号記載無

中尾 乃愛（ナカオ ノア）米盛病院 協会番号記載無

中村 環（ナカムラ タマキ）いまきいれ子ども発達支援センター 協会番号記載無

溝下 正展（ミゾタ マサノブ）出水郡医師会立第二病院 92199

川畑 智樹（カワハタ トモキ）リハビリアイ西出水 協会番号記載無

決議事項：承認

議案 2

提出者：福永 一喜

士会内での立場：副会長

議案：災害時対応窓口の再編について

決議事項：現状については画像参照

[本部]

所属施設名	担当者	連絡先
鹿児島大学医学部保健学科	吉満 孝二	TEL : 099-275-6805 FAX : 099-275-6805

鹿児島医療技術専門学校	藤田 賢太郎	TEL : 099 -261 -6161 FAX : 099-262-5252
株式会社 輝く羽	西 綾	TEL : FAX :
居宅介護支援センター・七福神	福永 一喜	TEL : 099-248-7003 FAX : 099-228-2728

担当地区	対応施設名	担当者	連絡先
南薩地区	訪問看護ステーションてあて	溝口 諒	TEL : FAX :
	鹿児島医療技術専門学校	作業療法学科 藤田 賢太郎	TEL : 099 -261 -6161 FAX : 099-262-5252
	〈奄美地区〉大島保養院	平城 修吾	TEL : 0997-54-8888 FAX : 0997 -54 - 8800
	〈熊毛地区〉種子島医療センター	作業療法室 酒井宣政	TEL : 0997-72-0376 FAX : 0997 -72-3936
北薩地区	神村学園専修学校	作業療法学科 日高 俊和	TEL : 0996 -21 -2071 FAX : 0996-21-2071
大隅地区	医療法人青仁会池田病院	住吉 賢一	TEL : FAX :
霧島・始良地区	リハケアガーデン国分	深見 友一	TEL : 0995 -73 -3381 FAX : 0995-73-3382

議案 3

提出者：福永 一喜、坂下 寛

士会内での立場：副会長、広報担当理事

議案：新人オリエンテーションで使用した動画のアップについて

決議事項： 新人オリエンテーションで使用した動画「会長挨拶」「協会概要」「各支部紹介」を広報媒体として使用してもよいか。（ホームページにリンクを貼るなど）肖像権や著作権のこともあるため。

議案 4

提出者：吉満孝二

士会内での立場：会長

議案：協会の新ロゴについて

決議事項：九州作業療法学会 2023 in 鹿児島にて作成した学会ロゴを一部改変して新体制となった協会のロゴとしたい。

デザイナー；マリコ氏とは文書にて契約、改変については文書で同意済み。

ロゴの意図は作業療法士が人と人をつなぐ、過去と未来を紡ぐという意味です。

ロゴの件が解決次第、名刺作成にとりかかりたいと思います。



議案 5

提出者：柳田信彦

士会内での立場：学術部担当理事

議案：「第 32 回 鹿児島県作業療法学会の参加費」についてこれまでの県学会の参加費を考えると現状にそぐわないところがあり、直近の第 32 回鹿児島県作業療法学会における参加費について現行を基に再考した。

【現行】

- ・会 員：無料
- ・非会員：10,000 円
- ・学生：無料（要学生証）
- ・一般：2,000 円

※会員とは、一般社団法人鹿児島県作業療法士協会会員であり、かつ九州各県県士会会員に限ります。

※一般とは、他職種及び九州圏外の作業療法士も含まれます。

【案】

- ・ 会 員 （ 47 都 道 府 県 作 業 療 法 士 協 会 会 員 ）： 無 料
- ・ 鹿児島県内の作業療法士養成校の学生：無料（学生証を確認する）
- ・ 準会員（~~鹿児島県外の九州の作業療法士協会県士会会員~~）：~~無料~~
- ・ 一般（鹿児島県内の理学療法士・言語聴覚士・その他医療福祉関連施設従事者）：~~1日参加：1,000 円、（2日開催で）両日参加の場合：2,000 円~~

・九州以外の作業療法士（各都道府県作業療法士協会の会員であることを確認する）：
1日参加：1,000円、（2日開催で）両日参加の場合：2,000円

・非会員：1日参加：5,000円、（2日開催で）両日参加の場合：10,000円

※会員または準会員であり、かつ日本作業療法士協会会員の場合、ポイントが付与されます。

主な変更点としては参加者の要件に「日本作業療法士協会会員」の文言を削除した。その理由として「日本作業療法士協会会員」を参加基準にすると「日本作業療法士協会会員ではあるが鹿児島県作業療法士協会会員でない」場合や九州外の作業療法士の参加を視野に入れたときに整合性が保たれないため「日本作業療法士協会会員」の文言を削除した。なおポイント付与に関しては「日本作業療法士協会会員」が前提になるので文言を残している。

また「準会員（鹿児島県外の九州の作業療法士協会県士会会員）：無料」に関しては、第32回鹿児島県作業療法学会が鹿児島初の島しょでの開催であり、鹿児島の島しょに興味を持っていただき、かつ少しでも費用負担を軽減した方がよいのではないかと考え、上記のように提案する。

決 定 事 項

・会員（47都道府県作業療法士協会会員）：無料

・鹿児島県内の作業療法士養成校の学生：無料（学生証を確認する）

・一般（鹿児島県内の理学療法士・言語聴覚士・その他医療福祉関連施設従事者）：1,000円

・非会員：10,000円

※会員または準会員であり、かつ日本作業療法士協会会員の場合、ポイントが付与されます。
となった

議案6

提出者：西

士会内での立場：副会長

議案：自動運転再開作業療法検討委員会の活動に関して

決議事項：自動運転再開作業療法検討委員会は、これまで鹿児島県指定自動車教習所協会や県警との連携を行ってきました。しかし、これまで協定等は結んでいない状況での活動でしたので、改めて協定を結ぶことを検討したく提案します。

目的と理由

1. 日本作業療法士協会の運転と作業療法委員会においても、協定を結ぶ必要性を示しています。

（全国で3ヶ所ほど協定を結んでいる県あり）

2. 鹿児島県医師会への挨拶時もパブリックな団体であることを求められています。

3. お互いの役割の認識と活動の意味を明確化し、人事異動後も円滑にやり取りを行うため。

上記を踏まえて、徳島県OT協会の協定書を引用して作成しました。

鹿児島県自動車運転支援再開検討プロジェクトに関する協定

一般社団法人鹿児島県作業療法士協会（以下「甲」という。）、一般社団法人鹿児島県指定自動車教習所協会（以下「乙」という。）及び鹿児島県警察本部交通部（以下「丙」という。）は、相互に連携を密にし、障がい者や高齢者等の自動車運転の支援に向けて取り組みに関し、相互に協力するため、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 この協定は、甲、乙及び丙の間において、高次脳機能障害をはじめとする障がい者や高齢者等、自動車運転の継続の課題を抱える方等に対し、関係機関・団体が連携し、それに関わる専門職が、適切な方法で自動車運転支援を行うためのプロセスを共有して、県民の安全で安心した暮らしを支えることを目的とする。

（協力内容）

第2条 この協定は、甲、乙及び丙の相互理解による信頼と協力関係を基本とし、丙は甲及び乙に対して指導、助言するものとする。

（活動内容）

第3条 甲、乙及び丙の活動は以下のとおりとする。

1 甲は、県下の医療機関において障がい者等の自動車運転の再開に必要な評価及び支援を行うものとする。

2 乙は、県下の指定自動車教習所において医療機関と連携し、必要に応じて実車での走行評価を行うものとする。

3 丙は、県下の指定自動車教習所に必要な支援方法または実車での走行評価に対して指導、助言を行うものとする。

4 甲、及び丙は、運転を中止した障がい者や高齢者等に対する支援について、医療機関・団体に対して必要な意見を述べたり働き掛けるなど、総合的な運転支援を推進するものとする。

（個人情報の保護）

第4条 甲、乙及び丙のは、この協定の実施にあたり、個人情報の保護に十分配慮することとし、活動上知り得た情報を関係者以外の第三者に漏らしてはならない。

（相互連携）

第5条 甲、乙及び丙は、この協定に定める事項の円滑な推進を図るため、相互に連絡窓口を設定し、緊密に情報を共有するなど、連携の強化に努めること。

（協議）

第6条 この協定に定めない事項又は疑義が生じた場合は、甲、乙及び丙のが協議するものとする。

（有効期間）

第7条 この有効期間は、協定締結の日から1年間とする。ただし、この協定の有効期間終了前の1ヶ月前までに、いずれからも意思表示がなされないときは、期間終了の翌日から1年間この協定を更新するものとし、以後もまた同様とする。

この協定の締結を証するため、本書3通を作成し、甲、乙及び丙が署名押印のうえ、各自その1通を保有するものとする。

令和 年 月 日

甲 鹿児島県鹿児島市城山町1-13ナポリビル4階
一般社団法人 鹿児島県作業療法士協会
会長

乙 鹿児島県始良市東餅田3935-3
一般社団法人 鹿児島県指定自動車教習所協会
会長

丙 鹿児島県鹿児島市鴨池新町10-1
鹿児島県警察本部交通部
交通部長

【その他】

次回会議：7月27日（水）19時～